

## 内田地区 市政懇談会

日時 平成 19年 7月 26日 19時 30分から

会場 内田地区センター

参加者数 68人

### 懇談 (質疑応答)

< 事前に意見集約された質問 (会場にて参加者に配布 )に対する回答 >

安全対策 < 森自治会 >

県道の改良工事を行っているが御門、山崎鑄造所前から、森前に向かう取り付け道路出入口交差点が大変狭く危険が増している。対策は取れるか。

安全対策 < 御門自治会 >

御門交差点 (旧三叉路 )の真中に印しを付けて欲しい。加茂から交差点を通過し、掛川方面に右折すると、見通しが悪く、七曲池方面から来て (大東より)加茂方面に向かう直進車輦を確認しがたく、事故の危険がたえずあります。危ない経験をした人も多く対策をお願いします。

環境対策 (農業用ビニール類の回収について) < 御門自治会 >

現在、肥料袋、マルチビニール、農薬空瓶、空袋等は有料で農協が回収しているが、どれだけの人が利用しているか疑問です。自分のところで焼却している人も多いようです。大気汚染や地球環境保全、温暖化防止が叫ばれているなか、非常に残念です。市も農協とタイアップして農業資材の回収に協力できれば、もっと回収率もよくなり、環境に優しい市政と住民になれると考えますが、どう思いますか。対策はどれでしょうか。

安全対策 < 杉森自治会 >

市道杉森長池線の拡幅改良工事が完成し感謝を致しております。しかし、現在加茂方面との往来の便利さから、大型車輦の進入やスピードを上げて走行する車の大変な増加に、住民の安全が脅かされることになってきました。早急に歩道路の設置を希望します。

安全対策 < 政所自治会 >

県道籠田橋、学童の交通安全のため、県道横断に安全対策がどうしても必要です。県道の改修工事が予定されているようですが、その改善策は考えられているのでしょうか。余りの危険さに、籠田橋の下を通行できるように、政所公民館前位から河川敷を利用した歩道路ができないか地元では考えます。真剣な検討、設計、上小笠川管理団体への検討協力要請を願います。

防災対策 < 政所自治会 >

各家庭に常備している同報無線(防災無線)は外部無線拡声器が場所によっては、まったく内容が伝わらず、良く聞こえないので、各家庭必ず1台常備して欲しいとの要請があります。現在は新築の家には配置がないのか教えて下さい。また、台数追加の要請はできるのか。

環境対策<東平尾自治会>

七曲池が開削工事を完了し、より一層の貯水量の確保と安全性が高まりましたが、周囲の埋立地など国有地の除草等、管理はどのような取り組みとなるのか聞かせて欲しい。

<平尾自治会>

自治会内、道路の白線が薄くなる。カーブミラーの保守、マンホール蓋の持ち上がり改善等、団地が戸数的にも完成しつつあるなかで、日常生活を取り巻く管理をどうしていくのか。市の協力と援助をお願いしたい。

補助金申請<西平尾自治会>

農道の舗装などに土地改良費がつかない。原因は菊川市全部で600万円とのことで、いかにも予算が少ない。自治会では1箇所の工事を5期に別けて申請しているが、予算分配を市内均衡のためとして、不採択となった。改善を願う。農業の生産と販売は、ますます厳しいこととなっている。少しでも農作業の環境を整えて、合理化が進められるよう土地改良予算の増額を要求する。

交通安全対策<西平尾自治会>

最近、携帯電話をしながら、シートベルトの不着用、一旦停止無視、スピード過多等、安全運転意識の低下が感じられる。運転マナーの教育体制はどうなっているのか。今後の取り組みは。

福祉対策<稲荷部自治会>

コミュニティバスの運行時間を検討して欲しい。(特に眼科、内科は午後の時間しか利用できない)市民病院の下にある薬局によると、バスに乗り遅れる。バス停の間隔が広すぎる。旧小笠の方々は、タクシー券が24枚出ており、合併後も出しているが、旧菊川地区には出ないのは何故か。

安全対策<稲荷部自治会>

先般の台風4号でも緊張をして管理をしていたが、稲荷部川水門への吐き出しポンプ設置等の防水防災対策を国、県などにどう要請しているのか、国、県では今後の方向性はできているのか。

安全対策<高田自治会>

高田橋の歩道路等の設置等、安全対策は

安全対策<段平尾自治会>

山花交差点南側、橋爪様宅南側の歩道路が途中で切れている。その先の切通し

は草が茂り自然に車道に出てしまう。安全対策は、同じく山花交差点から内田小学校への歩道路は、小学校入口で終わっている。高校生など自転車通学者は、ここで学校の石垣の側壁を伝って車道に飛び出し、交通量の多い車のなかに巻き込まれており、非常に危険です。仮に学校前の歩道路を横切って反対車線の歩道路に入っても、小学校児童の登校列に飛び込むこととなります。さらに保育園前では、この歩道もなくなっています。事故の発生前に対策をとるべきです。

民生児童委員への情報提供対応 (個人情報保護法) < 全体 >

民生委員が地域で相談を受けても、市の対応は個人情報保護法を持ち出して、十分な判断材料を民生委員に与えず、情報を得ることができなく民生委員としての活動が制約されています。民生委員の方々の情報秘守には定評があります。窓口の対応をきちんとした配慮にするよう手配願います。

安全な水利管理について < 全体 >

上小笠川の井場の農業用水運用に、近隣農家の協力を得ていますが、増水時の管理、作業には大変な危険を伴っていると、先般の水利組合の巡察時に改めて感じました。井場の管理は、安全性と合理的な仕組みを考えるべきで、農家の自主的な奉仕作業 (内田水利組合で管理費をわずかに支払い) だけをお願いしてはならないと思います。

防災対策 < 全体 >

内田小学校、地区センターが避難所になっているが、医師、看護師さんの配置、手配はどのようになるのか。

市長

県道の改良については、担当部長から説明させていただきます。

農業用ビニール類の回収についてですが、私どもも頭を悩ませているところです。廃ビニールにつきましては、数年前より話題となっており、産業廃棄物にあたります。法令的には事業者が自ら適切に処理することとなっております、農業者のみなさんも、事業者として処理しなくてはなりません。JAさんが有料で回収してくれていますので、そのような形でお願いします。是非、野焼き等しないように、ご協力をお願いします。市で回収したらどうかとのことですが、産廃になりますのでビニールだけを回収することは出来ませんので、適正な処理をお願いしたいと思います。

次に同報無線のことですが、一軒の家で脇屋があつたらそちらにも欲しいということだと思いますが、現在子局、同報無線の外の局が市内に120ヶ所あります。建てる時に専門業者が、音の反響などを確認しながら設置しておりますが、地形、季節により聞き取りにくいということは、時々皆さんからご連絡をいただいております。聞き取りにくいところ、反響してしまうようなところがありましたら、担当課の安全課ま

で、申し出いただきたいと思います。個別受信機ですが、正直申し上げて非常に老朽化おりまして、数に限りがあります。基本的には各家庭1台とさせていただいておりますので、ご理解をお願いします。現在、同報無線につきましては、菊川市が今やっているのがアナログ方式といいますが、これをデジタル方式に変更するということで、国、県から指導が来ております。これを今すぐ変えると十数億という非常に大きなお金がかかりますので、国、県と話をするなかで補助事業とか、どんなやり方があるかを模索しているところであります。市民のみなさんの、安心、安全につながることでありますので、経済的な機器整備を調査研究しておりますので、もう少し時間をいただきたいと思います。

次に七曲池の件ですが、地元のみなさんには七曲池にご協力いただきありがとうございます。ここは、国営の大井川用水の調整池として事業を行いまして、浚渫した残土を周辺のところ埋め立てさせていただいたわけでありまして、国とか大井川右岸土地改良区で話をしておりますが、お金の問題とか、権利の問題とか色々ありまして、現在、まだどのようにするかには至っておりません。是非、地域の皆さんのアイデアとか、このようにしたらいいんじゃないかとの提案がありましたら、地域の皆さんで検討していただいて、行政を巻き込んで有効利用していただければ、大変ありがたいと思っております。

次に交通安全の関係ですが、交通安全のことで皆さんにご心配いただきありがとうございます。全体的な交通事故は減っていますが、高齢者とか子供さんの事故とかは絶えないということで、心配しているところであります。警察署とか交通安全指導員の皆さんのご理解をいただくなかで、幼稚園とか小学校とかあるいは高齢者の交通安全に向けて、色々な教室を開いたりさせていただいています。交通ルール、マナーをお願いするわけですが、携帯とかシートベルトとか、皆さんにも協力をいただき、菊川市から事故が無くなるよう協力をいただきたいと思います。市としまして交通安全に向けて、色々な啓発事業とか、あるいは交通指導員さんとか、交通安全会とか、色々な形で取り組んでおりますので、今後も協力を賜りたいと思います。

次にコミュニティバスの件です。合併した時、コミュニティバスに取り組む方針が、合併協議会のなかで出されました。当時、菊川町では福祉バスが運行していまして、小笠町の方は福祉タクシーと、二つ全く違う福祉サービスを行っていたわけでありまして、合併協のなかでは将来的にはコミュニティバスに一本化しようということで、一年半かけまして色々調整をし、そして委員の皆さんの意見を聞きながら、この4月から本格的に導入させていただきました。時間帯が悪いとか、もっと本数を増やして欲しいとか、土日も走らせて欲しいとか、色々なご意見をいただいていることは承知しております。今、7台のバスを5日間運行していまして、限られた財源のなかでやっております。これから地域の皆さんの意見を聞きながら、取り組んでいきたいと思っております。

ので、まだ始まったばかりでありますから、自治会の皆さんの色々な考え方を教えていただきたいと思います。タクシー券につきましては、合併まで小笠地区では48枚出していたわけでありまして、今年度から廃止するというので、議会のみなさんとも協議をさせていただきましたが、南の地区の皆さんは今までコミュニティバスを体験していませんし、今までタクシーという制度がありましたので、基本的には廃止をしていきますが、今年は24枚を使わせていただいて、今後、タクシー助成はなくすことで考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

稲荷部の自治会の皆さんから、毎回稲荷部川の要望をいただいております。稲荷部川と本川のところで、あそこまでは国の直轄河川、そこからが県の河川ということで、地域の皆さんにはご迷惑をかけております。菊川本川につきましては、整備計画を昨年作りまして、まず最初に流下能力を向上しようということで、河川の河床を下げようとやっています。これは国の事業でやりまして、国安のところ土が溜まっていますので、まずその砂を取って浚渫し、流下能力を高めようと、これから計画に入ります。稲荷部川の皆さんには管理でご迷惑をおかけしていますが、私も国交省、県に対して、常に予算要望をやっています。例えば国の管理の方は、浜松に国交省の浜松工事事務所がありまして、名古屋に中部整備局、東京に本省があるわけですが、掛川市と連携をとるなかで、期成同盟会を作りまして年2回、国に行って菊川の本川についての要望活動を行っています。稲荷部川の上流部につきましても静岡県の方に、要望を上げてお願いをしていきます。稲荷部川の皆さんには、河川愛護に大変ご理解をいただいておりますので、そういったことも国、県に話しながら、生活の安全のために取り組んでまいります。

次に民生委員さんの件であります。毎年民生委員の方々と意見交換をさせていただいております。そのなかで、民生委員さんから、自治会の色々な情報を欲しいということをおっしゃっていますが、一つの壁は個人情報です。民生委員の皆さんは、情報をきちっとされていますし、外に出すことはないわけですが、やはり色々ななかで制約もあるわけですから、今日、自治会長さんもおられますので、自治会長さんと民生委員の皆さんとで、そこらへんの話をしていただきたいと思います。市としましても求められた情報につきましては、全てと言うわけにはいかないかもしれませんが、出来る限りの情報提供はさせていただきたいと思っております。

次に防災の医師、看護師さんの配置についての考えであります。避難所につきましては、内田地区では小学校を市の地域防災計画で位置付けておりまして、内田地区センターは、自主防災本部としております。このなかで、震災時には、市の医療救護計画上、医療従事者は市が開設する救護所に派遣されることとなっております。負傷者はまず、可能な限り自ら処置をしていただくということでありまして、もし困難な場合は、救護所に行ってくださいということであります。先程話がありましたように、

菊川市内では医師が充足している状況ではありませんので、いかにトリアージにより直ぐにやらなければならない方、重症の方を診るということで考えていかなければならないと思います。当然そのような時には、医療機関は混乱しますので、皆さんの理解をいただかなければならないと思いますし、私どもも冷静な判断をしていかなければならないと思います。救護所ではありますが、総合保健福祉センター プラザけやき、東中、西中、小笠保健センターと小笠北小を救護所として指定しております。

建設経済部長

私のところで農業の関係と建設の関係をやっています。こちらに来て感じたことは、小笠掛川線があって、吉田大東線があります。この道路がこの地域を形づくり、この道路に沿って集落が形成され、県道であっても、この地域の生活道路であると感じました。それから川が多い。川が多ければ当然橋もあります。高田橋、上小笠川、籠田橋、栗原川があって工事中の柳橋、吉田大東線を行ったところに稲荷部川、下流に行けば水門、そこから上流には橋がたくさんあります。私も似た地域に住んでいますので、失礼な言い方かもしれませんが、この地域には、いわゆる都市的な整備ではない整備の展開が必要かと感じました。

山崎鑄造から森前に向かう取り付け道路ですが、小笠掛川線で柳橋の工事をやっております。仮設の橋の横で橋桁の脚の部分が出来上がっている状態で、確認はしていませんが、近いうちに上部工が乗ってくると思います。それが出来た後に、森に向かう道路、橋が終わり次第、車道幅員 5m位だと思っておりますが、施工されるということで説明を聞いています。

御門の交差点の真中に印しをつけてもらいたいということですが、小笠掛川線をずっと行かして、吉田大東線を右に曲がっていく所と思いますけれど、私も走ってみました、真中に印しがありません。よく交差点にある菱形のものがないということだと思っておりますので、これについて静岡県土木事務所へ私のほうから設置に付いて、要請していきたいと思っております。

市道の関係で、歩道の設置をということでもあります。走ってみましたが、歩道も無く、交通量が増えてきているとのことですが、走ってみてそう感じます。ただ、勾配がある道路であります。道路を作る際の構造令という決まりがあり、そういうことから考えますと、ちょっと簡単にはできないぞ、と言うのが私どもの考えているところであり、今すぐには手をつけられないと認識しておりますのでご理解下さい。

政所の籠田橋のところ、行ってみましたが、確かに道路が狭くて危険と思います。直ちにやってもらいたいという気持ちがあります。県道ですので県にやってもらいたいと前々から、県の方に要望しておりますが、今、柳橋の工事をやっており県としてはひとつの路線で、ひとつの市内で複数箇所を同時に仕事をやっていくことは、財政的に困難という話があります。したがって、柳橋の工事が終わって、それからだ

んだん南の方に向かって、事業を考えていくということが入るようですので、引き続き南に向かって、静岡県の方で事業を展開するよう強く申し入れていきたいと考えております。

平尾の道路の白線などの話であります。建設課の方で所管しておりまして、ご質問いただきました、地区の白線とカーブミラーの関係につきましては、平成 19年度要望どおり設置するということで、確認されています。マンホールについては、現場を建設課で確認いたしまして適切な処置をこうずるということでもあります。

土地改良関係の補助金関係であります。ご質問にありますように土地改良で行っている、いわゆる一般の農道事業の補助金と灌漑排水がありますが、当初予算につきましては650万円という数字となっております。去年は補正をいただき増やしたわけですが、平成 18年度の補正後の予算は、960万円位確保されています。したがって、9月の議会が開催されますので、補正予算をお願いして対応していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと考えております。

高田橋、山花交差点の南側の歩道、ここの前の歩道につきましては、先ほどお話をさせていただきましたように、とにかく静岡県の方で、早く南の方について展開していただきたいと強く要望していきますので、ご理解をお願いします。

安全な水管理ということでもあります。上小笠川のい場のところということでありまして、担当課に確認したところ操作するところが土手の下、非常にあぶないところであると、認識しているとのことでもあります。い場をどうするかということでもあります。い場で水を取っている受益と大井川用水の受益が重なっている、そういうこともあるようです。したがって、大井川用水とい場の受益といいますが、水をとるところ、そういったところをしっかりと見ながら、事業を考えていかなければならないということでした。直ちにそれができるかという事になりますが、お金がないことは理由にはなりません。今の財政状況のなかで、直ちにそこをどうするかということについては、今の段階では、回答申し上げられないという事でもあります。大変申し訳ありませんが、ご理解をいただきたいと思っております。

<会場出席者からの質問>

稲荷部 男性

最近図書館の利用マナーがかなり悪いと言われていると言われていまして、私が東京におりましたところ図書館の利用はものすごくよかった。あまりにも菊川の図書館の利用が悪いということ、他の人も言うておりました。私が見たことを言いたいと思いません。図書館の中で展示をよくやっていますが、展示にやってくる人が大声で叫んだり、展示を見に来る人が、大声でしゃべったりすることが、かなり目につきます。それから、子供が大声を出して遊んでいるにもかかわらず、図書館の職員は全く注意しないので、そこら辺のことはちゃんと考えて欲しいと思っております。市の職員の方が、自

習室で、女性 2人ですが昼休み中ずっとしゃべっておりまして、他の利用者の方がチラチラと見て帰っていきました。あと、2階に自習ルームがあり、そこは図書館の人から見ると死角となっており、私が見たのですが老人が仮眠をしたり、いびきをかいたりしてずっといます。一番ひどかったのは、お年よりの方で新聞を1階から持ってきて、お酒を飲みながら新聞を見ている状況がありました。多少マナーが悪いと感じます。最近引っ越してきた方ですが、愛知県から来たそうですが、菊川の方はマナーが悪いと嘆いておられました。公共の場でのマナーが悪いのが露呈してしまうと、イメージが低下するのではないかと思います、言わせていただきました。

市長

貴重なご意見ありがとうございました。図書館の利用規程がありますから、その利用規程をもう一度職員に伝えまして、きちっとルールを守るような指導をしていきます。今、言われたことに、私も身に覚えのあることが、幾つかありますので、きちっと図書館に伝えます。

御門 男性

4点お聞きします。菊川の国民年金台帳が、テレビで放映されたように、無いという情報がありますが、それが事実かどうか、それが事実なら年金を掛けたのがわかるかどうか。

菊川駅前から5丁目までの、駅前の区画整理がたいがい出来たと思いますが、現状店等が少ない。今後の計画はどうするのか。

小菊荘の特別会計7,633万円出ていますが、これは毎年出ているのか。何か事業をやってこれだけ出すのか、これをお聞きしたい。

最後になりますが菊川は、お茶どころ菊川と言いますが、今の段階では菊川の茶価は低迷していて、茶農家は大変苦しんでおります。今後菊川としてどのような策を取って、菊川の茶農家を出していけるのか。この4点をお聞きしたい。

市長

国民年金につきましては、部長の方から説明します。駅南区画整理事業につきましては、当初、商業振興、住環境整備ということで、平成2年から本格的に取組みまして、来年ほぼ完成する予定で、総事業費が150億円ほどであります。中心商店街というものも課題となっているところでありまして、今、市として、商工会、3つある商店街組合、商工観光課と情報交換をしながら、商業振興に取り組んでおります。あと2年後に、完成するつもりでありまして、今後も事業者の皆さんと商工会を中心に取組んでいきたいと思っております。

小菊荘の7,633万円というのは、年間の予算でありまして、これは歳入、歳出、1年間の売上が7,633万円、そして歳出も7,633万円とほぼプラスマイナスゼロということでありまして、これだけが赤字ということではありません。その点はご了解いた



だきたいと思います。ただ昨年度耐震診断をやりまして、この4月から宿泊をストップしております。したがって、今は西側の棟しか使っておらず、東側の宿泊施設はこの4月から止めていますので、今年度においては千万円単位の持ち出しが出ると思いますが、それについては今、議会の方と話をしております、どのように対応するか、早急に決めて今後の経営については、しっかりやっていきたいと思っております。

お茶については、私が言うよりも詳しいと思いますが、今、茶業協会とか、JAとか、色々な茶農協さんとかと、情報交換しながらやっています。基幹産業でありますからお茶のまちとして恥ずかしくないように、行政としてやっていきます。お茶のまちとして恥ずかしくないように、今まで以上にお茶に関して積極的に取り組んでまいります。

福祉環境部長

国民年金台帳が菊川市の中に保存されていないということは、事実かということですが、紙ベースの台帳はありません。これは既にこの年金事業が社会保険事務所の方に、市から移った時点で、全てのデータは国が保存しているという形になっております。今回、5千万件の関係で問題が起こったというのは、平成9年以前、平成9年からは基礎年金番号が付番してありまして、それをもって管理できるようになっておりますけれども、それ以前のなかで、氏名、生年月日、住所こういったものが一致しなかった人達が出たと、そういう人達の年金が宙に浮いているといった実態があります。こういう人は、どういう人達が多いのかというのは、職業を変えたりして色々な年金に入っている、そういう形のなかで、氏名、読み仮名が違った場合に確認が出来ない5千万件の中に入っているという状況です。心配の方があれば、掛川の社会保険事務所の方で、全てそういう相談に乗っておりますので、是非社会保険事務所の方に、確認をいただければと思います。

稲荷部 女性

コミュニティバスのことですけれど、バスのドアは自動ではなく手動です。運転手さんによっては、乗る人にやって下さいという運転手さんもいるようですけれど、その点はどうでしょうか。

市長

自動でないのは間違いありません。本当に自動にすればよかったと後悔しています。今、7台しかないものですから、それを今付けるという事は技術的に難しいというのが実情です。内部で話をしております、一度にストップすることは出来ませんので、順次、何らかの形で、自動ドアにするように話をしておりますので、もう少し時間をいただきたいと思います。

地域支援課長

利用者の方に自分で開けて下さいとはうちの方からはお願いしておりません。とい

うのは、バスの安全を確保するために、高齢者が使われますので、運転手がドアを開けて、着席して確認をして安全な走行ということで、委託業者の方をお願いしております。今、お話のありましたことは、うちの方から早速、委託業者に注意をしておきます。